



	書名	著者名	請求記号
1	最近、地球が暑くてクマってます。:シロクマが教えてくれた温暖化時代を幸せに生き抜く方法	水野敬也、長沼直樹著	451/Mi
2	地球温暖化の目撃者	小西雅子編著	451/Ko
3	不都合な真実: 切迫する地球温暖化, そして私たちにできること	アル・ゴア著、枝廣淳子訳	451.3/2
4	新・雲のカatalog: 空がわかる全種分類図鑑	村井 昭夫、鵜山 義晃著	451/Mu
5	私たちの選択:温暖化を解決するための18章	アル・ゴア著、枝廣淳子訳	519/Go
6	すごすぎる天気図鑑: 空のふしぎがすべてわかる! = The amazing visual dictionary of the weather	荒木健太郎著	451/Ar
7	地球に住めなくなる日:「気候崩壊」の避けられない真実	デイビッド・ウォレス・ウェルズ著、藤井留美訳	519/Wa
8	地球温暖化:この真実を知るために:何が起きるのか?どう克服するのか?	西岡秀三著	451/Ni
9	13歳からの環境問題:「気候正義」の声を上げ始めた若者たち	志葉玲著	519/Sh
10	気候変動から世界をまもる30の方法:わたしたちのクライメート・ジャスティス!	国際環境NGO FoE Japan編	451/Ko
11	人類と気候の10万年史:過去に何が起きたのか、これから何が起ころのか	中川毅著	451/Na
12	東日本大震災後の持続可能な社会:世界の識者が語る診断から治療まで	林良嗣編	519/Ha
13	チェンジング・ブルー:気候変動の謎に迫る	大河内直彦著	451/Ok
14	みんなで考える脱炭素社会:ビジュアル解説:The Roads to Carbon Neutrality	松尾博文著	451/Ma
15	プラスチックの現実と未来へのアイデア:みんなで考えたい:未来のために、今から出来るアイデアの数々	高田秀重著	519/Ta
16	シミュレート・ジ・アース:未来を予測する地球科学 = Simulate the earth	河内未知生著	450/Ka



**最近、地球が暑くてクマってます。** 

「地球温暖化」について、全く知らない人でも理解できるように なります。子どもから大人まで幅広く読めてしまう一冊です。

かわいい子ぐまとお母さんぐまが、楽しそうに会話をしながら、温暖化について解説してくれています。

「地球温暖化、しりも止まらないん...」  
で「クマ、ちゃんですよね。」なんて。

P.015より。

2匹の掛け合いが、とてもカワイイ!!



## 地球温暖化の目撃者

小西 雅子 編著

なぜ温暖化は起きるのか...

どのような影響が起きているのか...

どうすれば「防ぐ」ことができるのか...

世界各国から、地球温暖化による自然の異常を目撃している人たちの事例報告とその様子の写真が紹介されています。「日本からの証言」P.99では、沖縄のサンゴが死んだ海や、白化したサンゴの写真が掲載されています。とても不気味で、より過酷な現状を表していました。

私たちに何かできるのか、考える機会  
になれば、良いなと思います。






# 不都合な真実

AL GORE アル・ゴア  
AN INCONVENIENT TRUTH

2006年のアメリカドキュメンタリー映画の書籍版であり、  
地球温暖化についての警鐘作品でもあるこの本は、  
15年も前に出されたものとは思えない、今の自然災害の  
規模を考えるととても納得できる内容となっています。

コロナ禍で経済活動が減少した2020年、  
ロックダウンによって、大気汚染もまた減少しました。  
人が環境へ与える影響が、身をもって理解で  
きた出来事だったと思います。またこの本を読み、  
よく考えるべきことなのではないでしょうか。

巻末の  
地球温暖化  
に関する  
図解も  
オススメ  
です。



アルゴアは、映画  
『不都合な真実』により  
環境問題解決に  
貢献したとして、トベル  
平和賞を受賞し  
ています。

## 新・雲のカタログ [文と写真] 村井昭夫・鶴山義晃

ふと見上げた空に浮かぶ「雲」、毎日違う姿を  
している理由を知っていれば、きっと見方は変わっ  
てくるはずです。時には、嵐の予兆としての一面を持つ  
「雲」について、本書から学んでみませんか？

様々な美しい雲の写真が、解説とともに掲載さ  
れています。数年前の夏の夕方に見た、とても印象的  
な雲がP.115の「かなとこ雲」だと分か  
たことが嬉しかったです。自分の記憶の  
中の雲を探してみるのも楽しいですよ！  
温暖化によって、雲にも変化が起きて  
いるのか...についても気になる所ですが...






# 私たちの選択 温暖化を解決するための18章

『STOP 温暖化!!』とは言うけれど、一体どれだけ私たちは取り組んでいるのでしょうか。言うは易し、行うは難し。政治の思惑や体制変更でかかるコストが邪魔をして、なかなか進まないのが現状です。


『このままだもなんとかなるんじゃない?』という楽観的な考えの先に待ち受けている未来はどのようなものなのか。今一度真険に考え、出来ることから始めてみましょう!



## 空のふしぎがすべてわかる! すごすぎる天気の本鑑

終わりの見えないコロナ禍に加え、梅雨の季節も訪れようとしています。お出掛けできない今、空を見上げてゆっくり過ごすのはいかがでしょうか?

空のふしぎをカワイイキャラクター達が楽しく教えてくれます。雲や虹、空の色まで、沢山のふしぎを見てみましょう!





## 地球に住めなくなる日

『地球の森林を守るためにペーパーレス化します』というお知らせを紙で作って配る。『地球環境のため、CO<sub>2</sub>を減らしましょう!』と車に乗りながら宣伝して回る。大変なことと分かってはいるけれど、どこかで「自分ぐらい大丈夫」「どうせなんとかなるでしょ?」と軽く考えてしまいます。

しかし、その先には何が待ち受けているのでしょうか。

今が大丈夫ならok? ホントに?



## 地球温暖化 — この真実を知るために — (Newton 別冊 サイエンステキストシリーズ)

この別冊雑誌では、「地球温暖化は本当か?」「原因は何か?」「何が起きるか?」「CO<sub>2</sub>はどんな物質なのか?」「明日のために何ができるか?」について各章で紹介している。

ニュートン別冊では『地球温暖化の教科書』が2022.4.14に発行されている。こちらでは、国連機関である「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」の2021.8.9 第6次評価報告書(新しい報告)についても書かれている。

こちらも機会があれば見てほしい。

(温暖化の原因について新しい報告書では「人間の影響が気候システムを温暖化させてきたのは疑う余地がない」と以前は「可能性が高い」という表現だったのから変わっているようです。)





## 13歳からの環境問題

「気候正義」とは... (本女子)

温暖化を促進してきた国々や世代が  
自らの責任として温暖化対策に取り組むこと

そういった「気候正義」の定義を知った若者が、「グローバル気候マーチ」  
などを通して経済優先の世の中に、環境問題を訴えはじめて

「クールビズ」を選択する、着るもの食べるもの。

「EP鑑」(?)について考える...

環境問題に個人としてどう取り組めるか。  
きっかけになる一冊です。

個人の行動から社会や経済が変わります。



## 気候変動から世界をまもる30の方法

気候変動に関して考えるべき30のポイントを子どもにも伝わるように解説し、どこからでも読めるとても手にとりやすい一冊です。「わたしたちのクライメート・ジャスティス!」という副題の通り気候変動が及ぼす不平等な側面を考えさせられました。世界中で大規模な天災が起こる現在、その被害は貧しい国ほど、さらにその中で立場の弱い人ほど大きくなるという不正義があります。自分の立ち位置と問題と自覚するだけでも行動変化につながるのでしょうか。





## 『人類と気候の10万年史 - 過去に何が起きたのか、 これから何が起るのか -』 (中川毅著)

何万年も前の地球の気候が「年輪」と呼ばれる1年に1枚ずつ  
形成される 薄い地層の堆積物を分析し研究することでわかって  
くる(例えば カリア海盆の年輪堆積物から 9世紀頃のマヤ文明  
衰退に干渉が果敢にしていることが解明できる等...)...このことが  
まず神秘的だ。地球の壮大な歴史とその中にいつしか現れ  
激変する気候の中で生き延びてきた人類。過去の精密な記録  
から気候変動のメカニズムを解明しようとする人間の知恵や思い...  
これからの可能性が、本書から感じられて興味深い。...  
筆者によると現代は「例外的に長く続く温暖期」だが  
「私たちが暮らす世界はこれから確実に姿を変えていく」そうだ。  
気候変動についての視点が大きく広がり、変わる一冊。

## 『東日本大震災後の持続可能な社会』

— 世界の識者が語る診断から治療まで —

名古屋大学が平成24年に 中日新聞と共同で開催した国際  
シンポジウム「地球にやさしい資源・エネルギー利用へ〜東日本  
大震災から1年」の内容がまとめられた本です。

2021年ノーベル物理学賞を受賞された 真鍋淑郎先生と  
はじめとする 4名の世界的識者による講演とパネルディスカッションが  
収載され、SDGsにつなげる人間社会のあり方と様々な視点  
から論じ説き、問いかける充実した1冊。

「人類が地球の資源を略奪するのではなく、地球に財産を残して  
人類以外の生命システムと共存できる能力を備え」、  
「自らも将来世代も幸せに生きていくことのできる  
サイクルを築ていく」ための多くのヒントが示されています。



# チェンジング・ブルー

大河内直彦・著

気候変動の謎に迫る

地球温暖化とはどういうシステムで起こるのか、現在の地球はどんな状態で、人類は今地球に何をして何をしているのかと、過去数万年前から近代までに起こった気候変動を読み解くことで提示しているノンフィクションである。

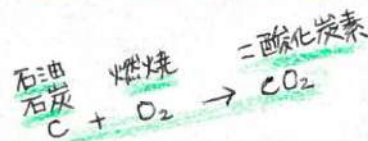
何人もの研究者たちがどんな手法で「古代の気候」という謎を解明してきたのか、伝記小説のような面白さも兼ね備えた本だ。



電気自動車  
再生エネルギー発電  
省エネ

ビジュアル解説

みんなで考える  
**脱炭素社会**



2050年、皆さんは何者になっていますか？日本を含む140ヶ国・地域以上が、2050年に温暖化ガスの排出量を実質ゼロにする目標を表明しています。

問題は気象変動だけではなく、地球温暖化を放置すれば、地球環境の悪化を人間の努力では止めることのできない最悪のシナリオになってしまいます。最新の取り組みを知って、すぐに行動を始めましょう。





## プラスチックの現実と未来へのアイデア

プラスチックと気象は無関係ではありません。

プラスチックはリサイクルすることも可能ですが、いずれ廃棄物、ごみとなり、自然界では分解されず、焼却処分するしかないので、ごみ焼却はCO<sub>2</sub>など温室効果ガスを排出して地球温暖化につながります。また、ごみ焼却はダイオキシンなど有害化学物質を発生するので、それを抑えるために高温で燃焼させます。すると、窒素酸化物が発生し、大気中の窒素酸化物は酸性雨の原因になります。

3R（リデュース、リユース、リサイクル）に Refuse（断る）を加え、脱プラスチック生活しませんか？



## シミュレート・ジ・アース

未来を予測する地球科学

天気予報は観測データを基にシミュレーションを行い、できあがります。

2021年ノーベル物理学賞の真鍋淑郎先生は「大気に加えて海洋の動きも取り入れたシミュレーションプログラムを世界で最初に開発されました（本書 P.29より）」

地震・火山噴火・地球温暖化などのシミュレーションの仕組みが学べます。

上空観測データ  
(ラジオゾンデ)

地上観測データ  
(アメダス)

アンサンブル予報

衛星観測データ  
(ひまわり)

カオス  
(バタフライ効果)

予報官の  
判断



天気予報を  
お知らせします

エルニーニョの  
予測は難しい  
です





## MEMO







## MEMO







愛知学院大学  
歯学・薬学図書館情報センター

コンセプトコーナー 2022年 6月

～今から未来の天気予報～ 地球温暖化対策Method

